

作成日: 1999年3月23日

改訂日 (V.12): 2016年12月28日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: 日農ブリザード水和剤

会社名: 日本農薬株式会社
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル
 担当部門: 環境安全部
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
 e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号: (平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

推奨用途及び使用上の制限: 農薬(殺菌剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可

SDS番号: 528-85 (M328)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分外
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(呼吸器/ 吸入ばく露)
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害 皮膚刺激 重篤な眼の損傷 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器/吸入ばく露)の障害のおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

- 粉じんを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

【応急措置】

- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断を受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 漏出物を回収すること。

【保管】

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：加熱、あるいはアルカリ性物質溶液と混合すると、有毒ガス（シアン化水素等）を発生する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)

- 1) トランス - 1 - (2 - シアノ - 2 - メトキシイミノアセチル) - 3 - エチルウレア
(一般名 シモキサニル)
- 2) テトラクロロイソフタロニトリル
(一般名 クロロタロニル、別名 T P N)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
シモキサニル	24.0%	57966-95-7	—	—
		化管法第一種指定化学物質		
クロロタロニル	60.0%	1897-45-6	4-(7)-539	(3)-1805
		化管法第一種指定化学物質		
〈その他〉				
シリカ(非晶質)	9.04%	7631-86-9	既存物質	(1)-548
		安衛法表示・通知対象物		
ドデシル硫酸ナトリウム	1.8%	151-21-3	—	(2)-1679
		化管法第一種指定化学物質		
界面活性剤等	残	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱ぎ、付着部を多量の水と石けんでよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水を飲ませ、医師の診断を受ける。意識の無いときには口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火時の注意： 加熱により有毒なガス(シアン化水素、窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素)が発生するので、消火活動には必ず適切な保護具(自給式呼吸保護具等)を着用する。蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤： 粉末、泡沫、炭酸ガス、砂、水
使ってはならない消火剤：情報無し。

6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、ガスや粉じんを吸い込んだりしないようにする。漏出物を集め、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。眼、皮膚に対し強い刺激性があるので、適切な保護具を着用し、粉じんやガスを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。かぶれやすい体質の人は、作業に従事しないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
加熱、あるいはアルカリ性物質溶液と混合すると、有毒ガス(シアン化水素等)が発生するので注意する。

保管： 容器を密閉し、換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない倉庫に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人用保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。
保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護衣(長袖・長ズボン、不浸透性)、エプロン、ゴム手袋
作業時に着用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観： 類白色水和性粉末
臭い： データ無し。
比重： データ無し。
pH： 4.0～6.3 (1%水懸濁液)
引火点： データ無し。
自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の条件下では安定。水と接触すると徐々に分解する。
危険な反応： 加熱、あるいはアルカリ性物質溶液と混合すると、有毒ガス(シアン化水素等)が発生する。

危険有害な分解生成物：燃焼すると有害なガス(HCl、CO、NOx等)が発生する可能性がある。

1 1. 有害性情報

急性経口毒性： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂ 1654 ♀ 1770
 マウス LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂ 1610 ♀ 1619
 急性経皮毒性： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂, ♀ >2000 (死亡例および中毒症状無し)
 急性吸入毒性： 1%以上含有され、毒性情報のある成分は、区分外に分類されるシモキサニルのみであることから区分外とした。毒性未知成分量は 75.3%。
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性：
 ウサギ 強い刺激性あり (10 日後に消失)
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：
 ウサギ 強い刺激性あり (21 日後にも消失せず)
 皮膚感作性： モルモット 陰性
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)：
 区分 1 (呼吸器/吸入ばく露) に分類される非晶質シリカを、区分 2 の濃度限界である 1%以上・10%未満含有することから、区分 2 (呼吸器/吸入ばく露) とした。毒性未知成分は 91.0%。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)：
 コイ、オオミジンコの毒性データにより区分 1 とした。
 水生環境有害性 (長期間)：
 慢性区分 1 に分類される成分含量及びその毒性値から推定し、区分 1 とした。毒性未知成分量は 5.0%。
 生態毒性：

コイ	LC ₅₀ 値/96h	0.121 mg/L
オオミジンコ	EC ₅₀ 値/48h	0.11 mg/L
緑藻 ^{#1}	EbC ₅₀ 値/0-72h	0.5 mg/L
	ErC ₅₀ 値/24-48h	1.04 mg/L

 (#1: *Pseudokirchneriella subcapitata*)
 残留性・分解性： 製剤のデータ無し。
 生体蓄積性： 製剤のデータ無し。
 土壌中への移動性： 製剤のデータ無し。
 オゾン層への有害性： 製剤のデータ無し。

1 3. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
 空容器：内容物を使い終わった後、適切に処理する。

1 4. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。容器の水ぬれを避ける。

国連番号： 3077
 品名 (国連輸送名)： ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.
 (contains chlorothalonil and cymoxanil)
 国連分類： 9
 容器等級： III
 海洋汚染物質： 該当
 緊急時応急措置指針番号： 171

15. 適用法令

農薬取締法

毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。

労働安全衛生法

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)：シリカ(政令番号 312)

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)：シリカ(政令番号 312)

化学物質排出把握管理促進法(化管法)

指定化学物質：シモキサニル(第 1 種・政令番号 141)、クロロタロニル(第 1 種・政令番号 260)、ドデシル硫酸ナトリウム(第 1 種・政令番号 275)

16. その他の情報

参考文献

- 1) JIS Z 7252 : 2009、GHS に基づく化学物質等の分類方法
- 2) JIS Z 7253 : 2012、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。